6月30日(木)
2016年(平成28年)
Vol.13

オウム対策住民協議会ニュース

〈発行〉
足立入谷地域オウム真理教
(アレフ)対策住民協議会
東京都足立区舎人1-3-26
電話 080-2378-3537

第14回抗議デモ・集会
オウムは「い・ら・な・い」

早期解散・撤退を！

横断幕を先頭に大勢の人がデモに参加した

3月20日(日)、住民(アレフ)に反対するデモ行進が実施されました。当日は、オウム対策協議会主催による第14回目となるオウム真理教会・自治会関係者等多数の参加・協力をいただきました。オウム真理教(アレフ)最大の拠点である足立入谷施設に対し、地元住民協議会がこれまで一貫して主張してきた「アレフ早期解散・撤退」を求め、先導車の拡声器に呼応しながら、「この町にオウムは要らない」「平穏な暮らしを返せ」のシュプレヒコールを繰り返しました。また、「オウム断固反対」の横断幕を掲げつつ、約1・5kmの道のりを沿道の人々に訴えながら行進し、連休中にも関わらず約180名もの多くの参加者をいただきました。

議員連盟の加盟議員、隣接の川口市議、世田谷区、烏山住民協議会、地元町

アレフの施設前で抗議するデモ隊

アレフ施設の前では、抗議文を直接手渡すため、インターホンで呼び出しましたが応答なく、やむなく、代表者による読み上げを行い、「オウム真理教とアレフは別の存在であると言うが、麻原彰晃こと松本智津夫を教祖とし、崇めて居る事は後継団体に他ならない」と改めて無差別大量殺人行為を行った団体である事を示した抗議文を読み上げた後、ポストに投函し、施設に向けて拡声器も割れんばかりの声を上げてシュプレヒコールを再三繰り返し、ゴールとなる集会会場に向かいました。

最近は、オウム信者と思われる見慣れない者達が早朝、深夜を問わずアレフ施設に出入りしており、さらに我々の反対運動を無視し、拠点の拡大を図るべく、土地建物の購入を模索するなど、近隣住民に直接危害を加えることはないものの、依然我々地域住民は、心身共に安堵の日々を送れずにいます。

今回は、大勢のデモ参加者が一体となって活動、行動を共にし、一刻も早いオウム問題の解決を目指し、地域住民の恐怖や不安感の解消に向けた希望の持てるデモ行進となりました。

集会 高橋シズヱ氏らが講演
ご主人の命日に墓前で手を合わせる事も儘ならず人生を見つめ直す

講演する高橋シズヱ氏(左)と中村裕二弁護士

熱心に耳を傾ける参加者たち

今回は、高橋シズヱ氏(地下鉄サリン事件被害者の会代表世話人)と中村裕二氏(未来市民法律事務所弁護士)のお二人にご講演をお願いしました。

高橋さんはご講演の前に、「3月20日は、地下鉄サリン事件の当日でもあり、そのような21年目の節目に講演の依頼を受け、亡き主人をはじめ、亡くなられた犠牲者や被災者への思いを今日この時間に皆さんと一緒に共有できることや、話をする機会をいただけたことに感謝します」と挨拶されました。

冒頭、ある大学での心理学の講義で講演したことにふれ、地下鉄サリン事件から20年間の活動を短時間で要約し、「被害者救済法でお見舞金が給付されるに至った」ことを話したところ、講演の感想文の中に「お金を貰いたいだけか」と誤解されて受け止められた感想があったことを受け、「13年後に救済法が制定され、経済的な回復はされても、活動の辛さ・苦労は理解されず、健康面の不安は今でも解消されないことがつらい」とのお話がありました。

また、代表世話人として、地下鉄サリン事件から21年が経過しましたが、3人の子供さんとの関わりや、ご主人の命日に仏壇の前に座る事も、自分のやりたい事も出来ず、事件の関連行事等の準備に追われ、気持ちに余裕がなく、自分の人生に疑問を感じる事もあり、周囲の騒音等を避けるため、転居する事で環境を変化させ、自分を見つめ直す契機としたそうです。

17年間逃亡を続けていた特別手配中の3人が相次いで逮捕され、新たな裁判員裁判の制度により、オウム関連の裁判が始まったが、同様に被害者参加制度により、被害者が法廷で検事と共に被告人に相対することが出来る事を知り、申し込んだところ、高橋被告を近くで見ることが出来た。被告人に対する怒り、亡き主人への思い、これまで裁判で語られてきた事件の記憶が薄れ、何よりも立ち向かおうとする気力が湧いてこない状態が続き、こんな状態では裁判に望めないと思い、上九一色村のサティアン跡を見ることで、原点回帰を図ったそうです。

◇

上九一色村の様子等は、次回協議会ニュースに掲載したいと思います。

協議会活動報告

【平成27年】
12／18(金)　実行委員会
【平成28年】
1／15(金)　実行委員会
1／19(火)　法整備要請書(5項目)盛山法務副大臣に提出(オウム真理教対策関係市区町連絡会)
1／25(月)　賀詞交換会(鴨下衆議院議員)
1／31(月)　賀詞交換会(鯨井区議会議員)
2／ 8(月)　賀詞交換会(高島都議会議員)
(各2～3名代表参加)
2／19(金)　実行委員会
3／13(金)　「地下鉄サリン事件から21年の集い」に10名代表参加:テーマ　死刑について–オウム事件を考える–
:会場　東京交通会館
3／18(金)　実行委員会
3／19(土)～3／31(火)
「地下鉄サリン事件から21年に伴う回顧展」　:パネル展示で参加
:会場　足立区役所　一階アトリウム
3／20(日)　第14回　抗議デモ・集会
:会場　旧入谷南小体育館
〈集会〉講師　高橋シズヱ氏(地下鉄サリン事件被害者の会代表世話人)
中村　裕二氏(未来市民法律事務所弁護士)

募金・協賛金

【平成28年】

1月22日	瀧野川信用金庫入谷舎人支店　様	¥10,000
2月2日	城北信用金庫入谷舎人支店　様	¥50,000
2月2日	大日精化工業(株) 東京・川口製造事業所　様	¥30,000
2月5日	日本衛生(株)　様	¥20,000
2月19日	足立成和信用金庫入谷支店　様	¥50,000
2月19日	(株)フォレスト　様	¥10,000
2月19日	(株)首都圏環境美化センター　様	¥10,000
2月19日	(社)長寿村　あだち翔裕園　様	¥10,000
2月19日	大谷清運(株)　様	¥10,000
2月19日	ユタカ運輸倉庫(株)　様	¥10,000
2月19日	(株)和興スチール　様	¥5,000
3月4日	区境　小川　俊男　様	¥10,000
3月7日	JA東京スマイル皿沼支店　様	¥10,000
3月18日	匿名　様	¥4,803
3月20日	喜さく　様	¥10,000
3月20日	抗議デモ・集会　募金	¥19,000
3月31日	(株)　カネテツ　様	¥10,000
3月31日	塚原正子　様	¥5,000

(平成27年12月1日～平成28年3月31日まで)
皆様のご協力。ご支援有難うございました。

平成28年度　定期総会開催
役員大幅刷新
新会長に水上氏を選出

議事は全て満場一致で原案可決

約100人が出席して開催された総会

5月25日(水)旧入谷南小第一多目的ホールに於いて、オウム真理教対策議員連盟に所属する各議員及び代理秘書並びに川口市議、八幡木自治会長、鹿浜地区町自連の各会長、古千谷本町・舎人町会・入谷自治会・舎人自治会・入谷町会の各会長並びに代理出席の方々、住民協議会会員、公安庁、足立区職員と総勢約100名の参加、協力を頂き、定期総会が開催されました。

冒頭、齋藤住民協議会会長から、「平日の夕食時に大勢の参加をいただいた事、過去2回の署名活動に際して全体の7割超を占める署名に協力を頂いた事、これまで6年に亘り協議会を支援頂いた事等」、改めて感謝の意を述べました。市川入谷町会会長からは、挨拶の中で、「学校の中でのお話として『出来る事から始める事の大切さ』や抗議文の提出の在り方」などのご提案をいただき、大山総務部長からは、区長代理として「今後も行政として協力は惜しまない」と区との協力体制の継続維持を改めて表明され、馬場区議会議員連盟会長が来賓議員を代表し、「前回の抗議デモは、地下鉄サリン事件から21年にあたり、協議会の活動がマスコミ等にも取り上げられ、全国に報道、放映された事は良かったと思う。新たな事業計画、役員改選等により、協議会活動のさらなる発展を期待したい」と挨拶されました。

来賓紹介の後、27年度事業報告・決算報告、28年度予算案・事業案とも慎重審議の結果、原案通り満場一致で承認されました。

役員改選議案で新役員体制の発表があり、原案通り可決、新協議会会長に前副会長・実行委員長の水上久志氏が選出されました(新役員名簿等は左表参照)。

新会長の水上久志氏は、「皆さんとこれまで以上の協力と団結で、オウム(アレフ)の早期解散・撤退を目指して行きたい」と皆様への協力をお願いするとともに、新任の決意、挨拶をのべました。

水上氏は、当初より実行委員長としてデモ行進等に大きな実績があり、最適な会長人事となりました。

新役員
(28年4月1日～30年3月31日)

顧　問	齋藤　洋一(前会長)
会　長	水上　久志(前副会長・実行委員長)
副会長	齋藤　和夫
	横山　修平
	小野　早苗(新任)
事務局長	市川　則昭
副事務局長	高橋　伸迪
実行委員長	齋藤　和夫(重任)
副実行委員長	矢口　アイ子
広報部長	小野　早苗(重任)
副広報部長	木村　武夫
渉外部長	青木　清美
副渉外部長	横山　修平
会　計	小金井和夫　島田　昇
監　査	草野　省二　山田　一男

以上、各氏が選出されました、宜しくお願いします。

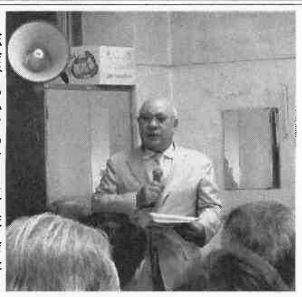
前会長の齋藤氏は顧問就任

会長を退任することとなった齋藤洋一氏は、出席者への御礼の挨拶の中で、「これまで多くの皆様からのご協力、ご支援を頂き、6年間協議会会長の職を勤めることができました。これからも、協議会活動の継続とさらなる発展を図るため、皆様のご協力をお願いしたい。」と正式に退任表明されました。

齋藤氏が会長に就任された当初は、暗中模索の中での協議会設立準備等、困難を極め、何回となく会合を夜遅くまで繰り返し、世田谷区烏山協議会へ訪問し指導を仰ぎ、関係機関等との折衝が続き、また、これまでアレフという得体の知れない目に見えない相手に対する恐怖と不安との戦いの中での6年間であったと思います。

今日の協議会活動の基礎ができたのは、齋藤前会長の努力の賜物だと思います、本当にご苦労様でした。今後は心身ともに健康に留意され、これまで以上に協議会運営に対し、顧問として一層の協力をお願いします。

オウム・アレフ解散の日まで皆さんと協力して活動を!


総会であいさつする水上新会長

5月25日に開催されたオウム対策住民協議会総会において、前会長の齋藤洋一氏の後任会長として指名を受けました、水上久志と申します。

齋藤前会長には、6年間の長期にわたり、対策協議会の運営に対し多大なるご尽力をいただき、誠にありがとうございました。

今後のオウム対策協議会の活動は、抗議デモ、学習会、監視活動等、オウム・アレフが解散の日まで、町会・自治会・各地域の皆様・対策住民協議会の方々と協力し、活動を進めてまいります。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

〈足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会　会長　水上　久志〉

第15回 抗議デモ

平成28年11月予定

募金・協賛金のお願い

協議会の活動は、募金・協賛金で運営されております。安心・安全な町を取り戻すために、是非皆様のご支援・ご協力をお願いします。

足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会
東京都足立区舎人1－3－26　電話080-2378-3537